

# 19, ニレ科の巨木 *Ulmaceae*

■ニレ科の巨木は以下に分類する。

A ケヤキの巨木 B ハルニレの巨木 C ムクノキの巨木 D エノキの巨木

## 19-A ケヤキ(欐)の巨木 ニレ科ケヤキ属 *Zelkova serrata*

※巨木DBでは、幹周3m以上のケヤキの巨木は1万本程報告されている。その内幹周6m以内のケヤキは全体の92%にのぼる。これは、神社仏閣等に普通に植えられている幹周3~6m程の、無名のケヤキを丹念に測定して報告した結果である。大ケヤキとして認知され、命名されるのは、おおむね幹周が5m以上あり、存在感のあるケヤキである。幹周5m以上あり、命名されている大ケヤキは全国で800本以上あり、いかにケヤキが日本人に身近な樹木であったかが伺える。本書では、命名されている幹周7m以上のケヤキについて評価、考察する事にする。

又、ニレ科の樹木は、葉がよく似ているために誤認されてきた。



ケヤキの葉  
全体に荒い鋸歯がある。



ハルニレの葉  
卵形で重鋸歯がある。



ムクノキの葉  
先端が尖り、細かい鋸歯がある



エノキの葉  
卵形、先端部に低い鋸歯がある。

### ■主なケヤキの巨木位置図

●ケヤキの巨木

★伐採されたケヤキの巨木



■ 関東のケヤキの巨木位置図



■ 長野県のケヤキの巨木位置図



## ■ケヤキの巨木分布の考察

ケヤキの巨木は、長野県中北部、新潟県、茨城県・群馬県・福島県・秋田県に多く分布している。そのほとんどが、神社仏閣境内にあり、信仰と関わりの深い樹木であった。スギの巨木が神社仏閣に多い事と共通性があるのだろうか。

ケヤキは、建築用材として大変優れ、神社仏閣ではヒノキと共によく利用されてきた。古老の話によれば、再建の折に利用できればと考え、創建の折に植えられたという。かなり現実的ではなかったか。

スギの巨木の多くは、親杉としての役割を担い、地域経済の重要な要であり、それ故信仰の対象になった事を考えると、ケヤキの巨木の場合は、用途として植えられ、樹種によって役割が異なっていたのではないかと想像できる。その事が、全国に広く分布しないで、地域性を持った原因の一つではなかったか。今後の研究の成果を待ちたい。

## ■ケヤキの巨木評価基準

AA 幹周おおむね 14m 以上の単幹樹、樹形壮大で同等評価のケヤキの巨木。

A 幹周おおむね 11~14m の単幹樹、樹形壮大で同等評価のケヤキの巨木。

B 幹周おおむね 7~11m の単幹樹、同等評価のケヤキの巨木。

C B 評価以下のケヤキの巨木。

## ■幹周 10m 以上で AA、A、B 級評価のケヤキの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
AA	東根の大ケヤキ 写真 K-001	M16.0m(1.3m 2009)	28m	山形県東根市東根字元東根本丸	国特別
A	野間の大ケヤキ 写真 K-002	M13.54m(1.3m 2007)	25m	大阪府豊能郡能勢町野間	国指定
A	木ノ下のケヤキ 写真 K-003	M13.33m(1.3m 2008)	20m	長野県上伊那郡箕輪町中箕輪芝宮	県指定
A	竹の熊の大ケヤキ 写真 K-004	M12.6m(1.3m 2007)	33m	熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場	国指定
A	高瀬の大木 写真 K-005	M12.0m(1.3m 2006)	26m	福島県会津若松市神指町高瀬字五百地	国指定
A	大六のケヤキ 写真 K-006	M12.0m(1.3m 2008)	20m	長野県上田市古安曾字大六	市指定
A	根小屋神社の畑木 写真 K-007	M11.9m(1.3m 2008)	21m	山梨県北杜市須玉町江草字根小屋	国指定
A	八幡のケヤキ 写真 K-008	M11.03m(1.3m 2012)	30m	福島県南会津郡下郷町中山字中平	市指定
B	お稲荷様のケヤキ 写真 K-009	M10.65m(1.3m 2015)	18m	長野県千曲市森字上平	市指定
B	鶴川神社大榿 写真 K-010	M10.42m(1.3m 2015)	20m	新潟県柏崎市新道	国指定
B	宮川の大ケヤキ 写真 K-011	M11.14m(1.3m 2007)	30m	富山県中新川郡上市町若杉 日吉神社	市指定
B	赤谷十二社の大ケヤキ 写真 K-012	M10.53m(1.3m 2008)	30m	新潟県十日町市赤谷	県指定
B	専福寺の大ケヤキ 写真 K-013	M10.5m(1.3m 2007)	15m	福井県大野市友兼	国指定
B	雲昌寺の大ケヤキ 写真 K-014	M11.2m(1.3m 2015)	18m	群馬県利根郡昭和村川額	県指定
B	西岩瀬諏訪社の大ケヤキ 写真 K-015	M10.35m(1.3m 2015)	25m	富山県富山市四方西岩瀬	指定
B	若宮八幡宮のケヤキ 写真 K-016	M10.6m(1.3m 2015)	20m	茨城県常陸太田市宮本町	県指定
B	宝蔵寺のケヤキ 写真 K-017	M10.82m(1.3m 2008)	35m	秋田県大仙市神宮寺上町	なし
B	十日市場のケヤキ 写真 K-018	M10.34m(1.3m 2008)	24m	山梨県南アルプス市十日市場	県指定

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	大家の大ケヤキ 写真 K-019	M10.2m(1.3m 2008)	23m	新潟県南魚沼市長森	なし
B	帝釈寺のケヤキ 写真 K-020	M10.07m(1.3m 2008)	26m	秋田県南秋田郡五城目町馬場目字岩城	町指定
B	山楯の大樺 写真 K-021	10.0m	30m	山形県酒田市山楯字北山添	県指定
B	高森の大ケヤキ 写真 K-022	10.0m	20m	新潟県新潟市北区高森	県指定
B	峯長瀬の大ケヤキ 写真 K-023	M10.0m(1.3m 2012)	20m	徳島県名西郡神山町阿野字峯長瀬	県指定
B	鶴巻の大ケヤキ 写真 K-024	10.0m	30m	神奈川県秦野市鶴巻南4丁目	県指定
B	三恵の大ケヤキ 写真 K-025	株 M14.94m(1.3m 2008)	20m	山梨県南アルプス市寺部字今井前	国指定
B	上町の大木 写真 K-026	M10.7m(1.3m 2008)	35m	長野県長野市篠ノ井塩崎上町	なし
B	菅山寺のケヤキ 写真 K-027	M10.3m(1.3m 2008)	15m	滋賀県長浜市余呉町坂口	県指定
B	安養寺のつきの木 写真 K-028	M10.16m(1.3m 2015)	17m	長野県佐久市安原	なし

### ■幹周 10m 以上で C 級 評価のケヤキの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹 周	樹高	所在地	天然記念物指定
C	出川の樺(主幹は枯死) 写真 K-029	巨木 DB17.09m(主幹 7.17m) 分岐幹合計周?	30m	秋田県大館市出川字神沢岱	市指定
C	天子のケヤキ 写真 K-030	15.4m(ほぼ破壊状態)	27m	福島県耶麻郡猪苗代町本町	なし
C	永田のツキノキ 写真 K-031	株 12.0m(根元 6 分岐)	25m	福島県南会津郡南会津町	なし
C	中屋敷熊野神社のケヤキ 写真 K-032	M9.87m M5.6m(2015)	25m	長野県東御市滋野字中屋敷	なし
C	天神宮のケヤキ	株 10.5m(主幹半壊)	13m	長野県上田市岩下	市指定
C	国津神社のケヤキ 写真 K-033	株 10.5m(2 幹並立)	20m	三重県津市美杉町太郎生字瑞穂	県指定
C	根小屋神社の田木 写真 K-034	10.1m(半壊)	15m	山梨県北杜市須玉町江草字根小屋	国指定
B	旗拳八幡宮のケヤキ 写真 K-035	株 M10.05m(1.3m 2015)	15m	長野県木曾郡木曾町日義	なし
B	幸殿の大ケヤキ 写真 K-036	M11.63m(1.3m 2015)	8m	長野県佐久市田口字宮代	なし
倒木	松之山の大ケヤキ 写真 K-037	11.0m	30m	新潟県東頸城郡松之山町湯山	国指定

写真 K-001(次頁)  
日本一のケヤキ  
東根の大ケヤキ

東根小学校前に立つ日本一の大ケヤキ。幹周の公表値が12.6m や環境省の15.6m 等複数存在する。しかし、実際見た目ではもっと太い気がしていた。そこで、2009年にM式測定法で測定した結果はちょうど16.0m。予想通りの結果で、文句無く日本一の大ケヤキである。しかし、樹形や空洞の状況から、合体木の可能性も指摘されている。

地上7mで大きく二分岐し、根元には貫通した穴があく。道路側の大枝が近年折れ、中心部に亀裂が入って、補修のワイヤーが張られる等、少々痛々しい。この樹下を子供達が毎日通るので、致し方ないだろう。もともとこの地は小田島長義が築いた東根城の本丸跡にあたり、かつては「はは槻」「ちち槻」と呼ばれていた二本の大ケヤキが並んでいたが、ちち槻が枯れた。



◀道路側の樹形。中心に縦の亀裂があり、補修されている。上の写真からも、二本の合体木に見えなくもない。

## 写真 K-002

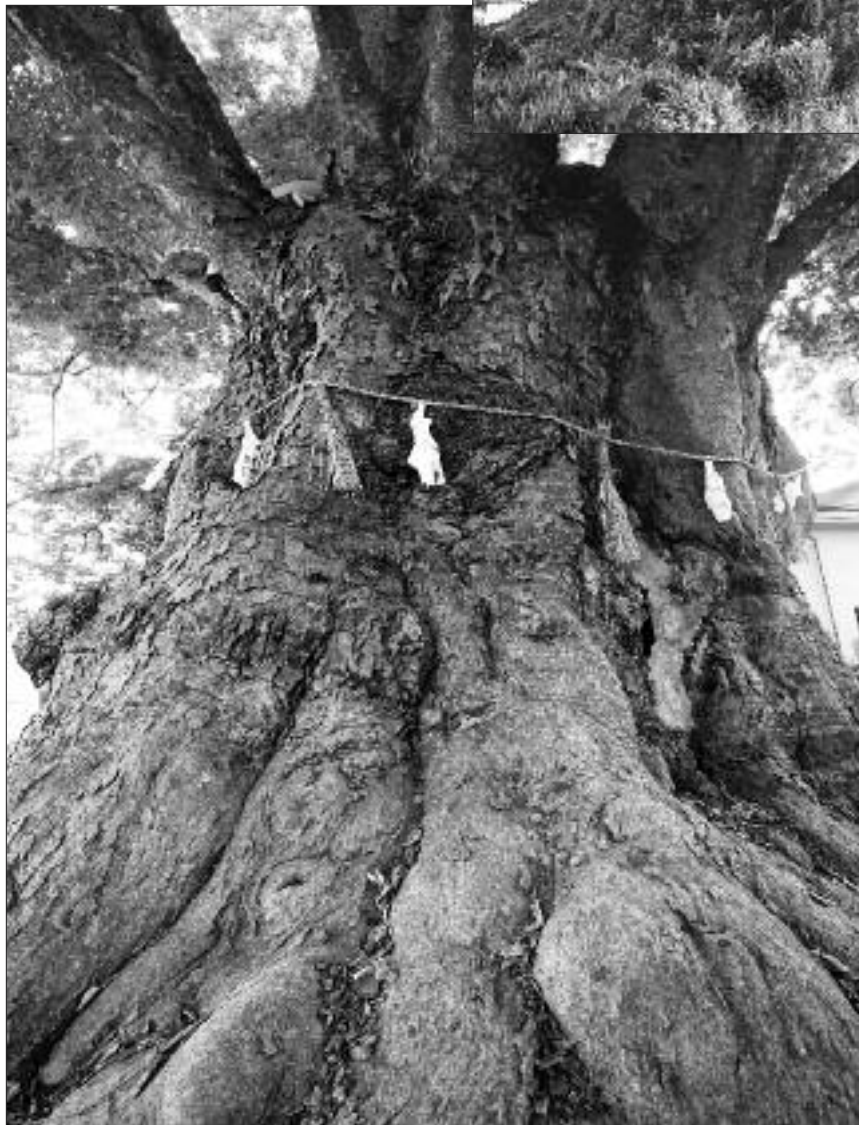
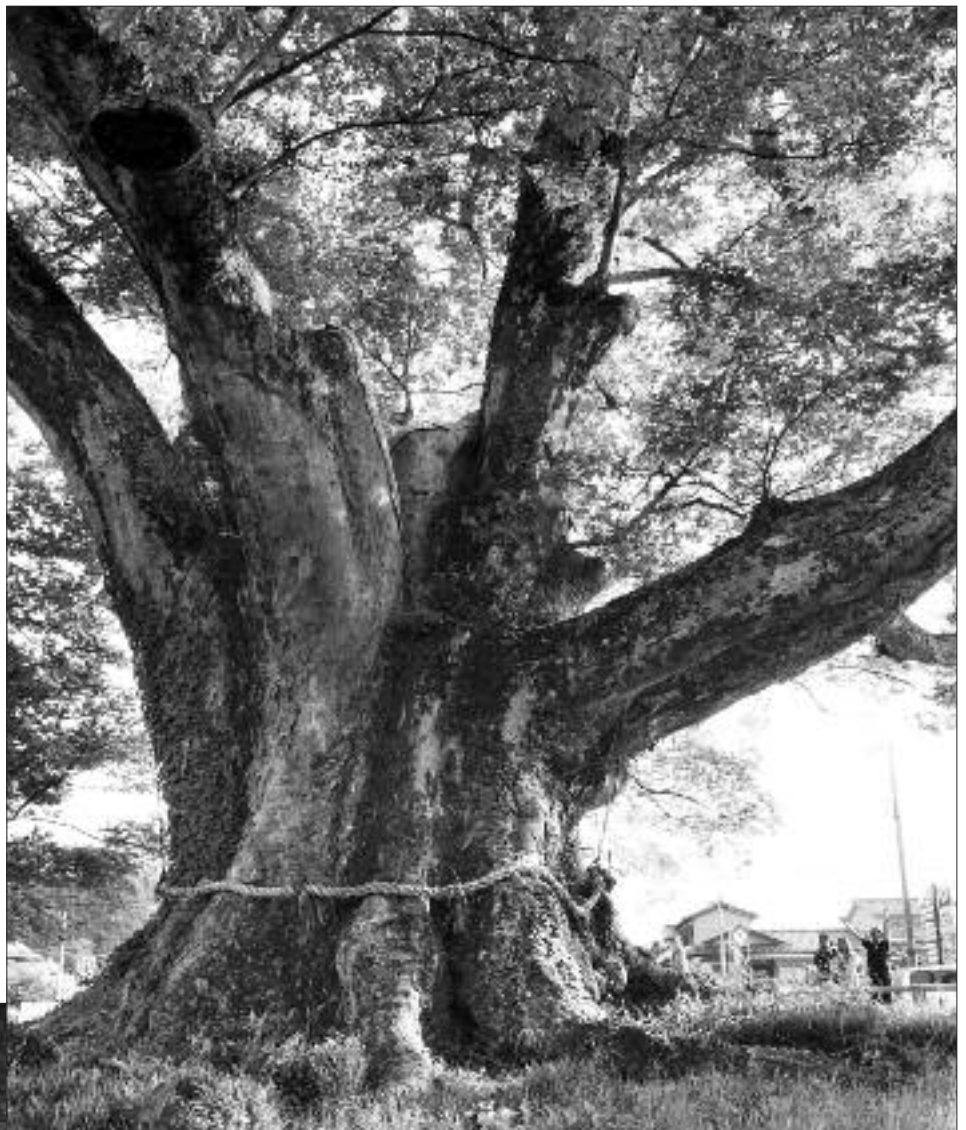
### 野間の大ケヤキ

全国二位のケヤキは、大阪市の北部、有名な妙見山を南に望み、周囲を山に囲まれた緑豊かな地にある。

この大ケヤキはもともと紀貫之を祭神とする蟻無宮(ありなしのみや)神社のご神木であった。明治40年、神社は野間神社に統合され、ご神木であった大ケヤキだけが現在の地に残った。

周辺は水田に囲まれ、その水分と養分で見事に成長し、根は一説に500m離れた隣の集落にまで伸びているという。早春、ケヤキの発芽状態で、その年の稲作の吉凶を占ったという。

ケヤキは一段高くなった場所に立つ。地上3~4mで六分岐する。主幹は平成元年に枯れたが、それを感じさせない樹勢がある。大木が放つ「気」は相当なものである。



## 写真 K-003

### 木ノ下のケヤキ

幹周の公表値が10.4mであった。最初の取材で、やけに太い印象があった。これは大変な大ケヤキであると、2008年に計測させていただくと13.33mという結果が出た。いきなり全国三位に。それにしても、保育所の運動場という苛酷な立地で、しかもほとんど無傷で成長し続けていることに驚かされる。よほどこの地が気に入っているようだ。



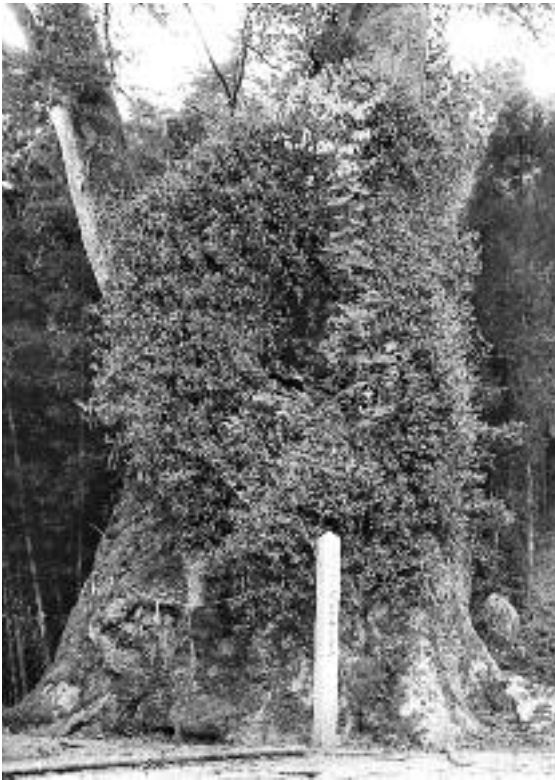


写真 K-004

たけ くま  
竹の熊の大ケヤキ

竹の熊にある天満宮境内左奥に立つ。主幹は7mで分岐、分岐部に空洞があり、かつて台風によって大枝が折れた跡である。



▲写真 K-005

たかせ たいぼく  
高瀬の大木

高瀬の大木はケヤキの怪樹である。慶長年間(1600年頃)に上杉景勝が築城した神指城の土塁跡に立つ。地上7mで三分岐し、主幹は10mで三分岐。うち二本は折れ、一本は水平に伸び、その重みで主幹に亀裂が入っている。亀裂部分がトタンで覆われ、痛々しい。

石川県小松市の山間部にあった幹周7.2mの「丸山の大ケヤキ」が伐採された。きれいに輪切りにされた根元に年輪がくっきり見え、中央部は空洞化していたが、樹齢約600年と判明した。高瀬の大木は推定樹齢500年という事だが、ケヤキの平均年輪幅と幹周から考えて、単純な計算であるが樹齢約1000年ということになる。築城時すでに大木であったようだ。



◀写真 K-006

だいろく  
大六のケヤキ

かつては樹高30mの巨大なケヤキであったが、戦後下枝が切られ、近年上部の幹が折れ、随分小さくなってしまった。それでも成長し続け、幹周は2006年の計測で12mで、5位タイとなった。民家の裏、畑の中に立つ。(上写真・全景)



写真 K-007

ねごやじんじや はたぎ  
根小屋神社の畑木

根小屋神社の境内には二本の大ケヤキがあり、社殿に向かって右が畑木(下写真左)、左(下写真中央奥)が田木と呼ぶ。芽吹きや葉の茂りぐわいで、畑木がよければ畑の作物が、田木がよければ稲作が豊作と言われてきた。畑木は健在だが、田木はかなり衰弱している。



◀写真 K-008  
はちまん  
八幡のケヤキ

巨木DBでは幹周12mとされるが、これは主幹が傾いているため、水平周囲を測定した結果。M式では、主幹の中心線に垂直に測定し11.03mという結果。巨木はこのようなケースが多く、公平な測定方法が必須である。幹周は少し小さくなったが、主幹の巨大感は見事である。しかも、樹形も見事で、枝張りは南北34mに及ぶ。







写真 K-009  
いなりさま  
お稲荷様のケヤキ

巨木DB幹周8.7mとされていたが、実際はM10.65mの巨大なケヤキであった。アンズ畑の中、土盛りの上に植えられた稲荷神社のご神木である。4mで5分岐していたが、一本破損するものの、樹勢は旺盛で、A評価予備軍の一本である。



写真 K-010▶  
うかわじんじやおおけやき  
鵜川神社大櫨

境内中央に立つ。主幹上部が失われてしまい、国指定当時の壮大な樹形は見られないが、主幹の巨大さは見事である。主幹は空洞化し、樹勢の衰えが見られる。

近くの柏崎市宮場町に「鵜川神社の櫨」があり、混同されてきた。こちらは中越地震で倒壊した。



▲写真 K-011  
みやかわ  
宮川の大ケヤキ

神社の背後に社殿を覆うように立つ。地上4mで2分岐する樹形で、主幹に縦の亀裂が入り、バンドで固定されている。合体木の可能性も指摘され、幹周の数字上は八幡のケヤキを上回るが、B評価とした。



▲写真 K-012  
あかだにじゅうにしや  
赤谷十二社の大ケヤキ

地上4mで大きく3分岐し、放射状に枝葉を広げる。ほとんど損傷がない見事な樹形をしている。A評価予備軍の一本である。



◀写真 K-013  
せんぶくじ  
専福寺の大ケヤキ

根元が大きく広がる樹形をしていて、地上8m程で主幹が切断され、屋根がかけられている。全盛期に国指定を受けたが、今は残念ながら少し巨大感がなくなった。

▼写真 K-014  
うんしょうじ  
雲昌寺の大ケヤキ

道路の境に立ち、道路側は火災により焼失し、寺側の半分が生き残っている。





写真 K-015

にしいわせ すわしや  
西岩瀬諏訪社の大ケヤキ

境内の端に立ち、6mで3分岐、大きく枝葉を広げ、樹勢は良い。

▼写真 K-017

ほうぞうじ  
法蔵寺のケヤキ

見事な単幹ケヤキの巨木である。参道の中程に立ち、地上8mで2分岐するまでほぼ垂直に立上がる。A評価予備軍。

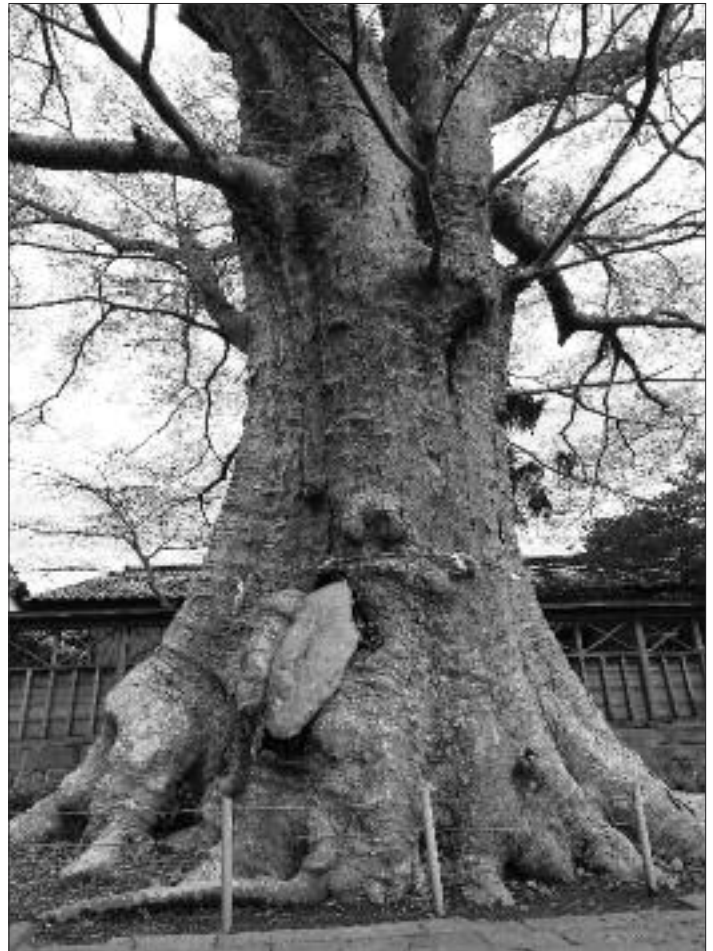


写真 K-016

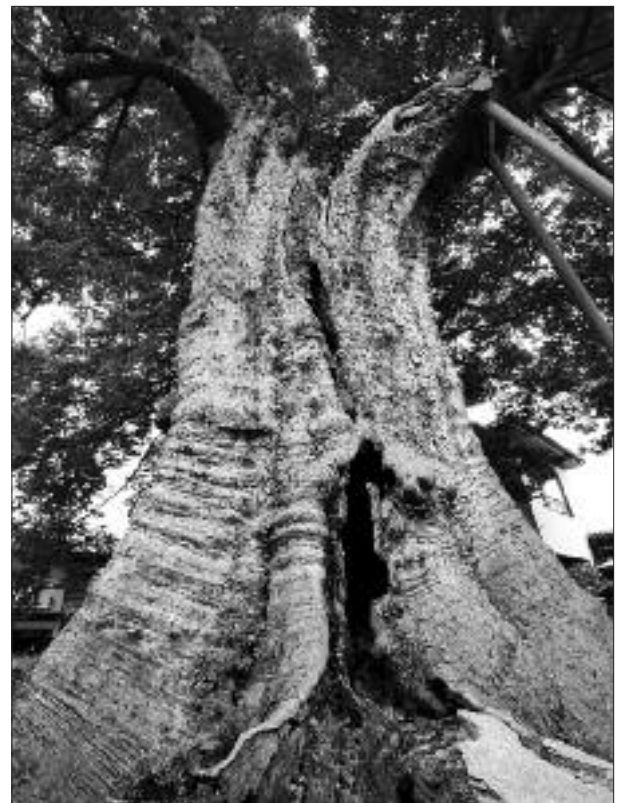
わかみや  
若宮八幡宮のケヤキ

根元が大きく広がる樹形で、8mで3分岐、上部に破損が見られ、主幹は空洞化している。

▼写真 K-018

とおかいちば  
十日市場のケヤキ

石動神明神社の境内、本殿の横に立つ。6mで大きく2分岐し、落雷によるものか、大きな亀裂が入っているが、樹勢は旺盛である。





▲写真 K-019  
おおや  
**大家の大ケヤキ**

立派な茅葺き屋根の民家庭に大ケヤキが立つ。4mで3分岐し、ほとんど損傷がない。幹周が11mを越えれば、A評価予備軍の一本。

▼写真 K-021  
やまだて おおけやき  
**山楯の大榎**

大神神社の御神木であるが、神社手前、傾斜地に立つ見事な単幹ケヤキの巨木である。(写真・Web画像)



▼写真 K-022  
たかもり  
**高森の大ケヤキ**

稲荷社の御神木。安定感のある見事な大ケヤキである。(写真・Web画像)



▲写真 K-020  
たいしやくじ  
**帝釈寺のケヤキ**

五城目のケヤキとも呼び、小公園の中央に立ち、2mで10数本に分岐。樹勢旺盛である。

▼写真 K-023  
みねながせ  
**峯長瀬の大ケヤキ**

民家の右手、竹藪と畑の隙斜面に立つ。6mで4分岐する樹形で、ほとんど損傷がなく、枝張り南北40mに及ぶ見事な樹形。





▲写真 K-024

つるまき  
鶴巻の大ケヤキ

「落幡の大エノキ」とも呼ばれ、エノキと誤認されていた。幼稚園の入口の小さな公園に立つ。(写真・Web 画像)



▲写真 K-025

みつえ  
三恵の大ケヤキ

もともと根元で3分岐する樹形であったが、中心の幹が落雷で崩れ、両端の幹が割れるように傾いている。M 式では株周として表記し、単幹樹とは区別して評価するが、ほとんど崩れているとはいえ、まだまだ巨大である。

▼写真 K-027

かんざんじ  
菅山寺のケヤキ

菅山寺は車道のない完全な山寺で、現在は無住である。粗末な山門前に門櫓として二本のケヤキが立つが、右側はほとんど朽ちている。左のケヤキは地上4mで大きく2分岐し、樹勢は旺盛だ。



▲写真 K-026

かみまち おおぎ  
上町の大木

小公園になっている一角に立つ。幹半分が黒焦げになっているのは、乞食が住み着いて火災を発生させた。





写真 K-029▶  
いでかわ けやき  
出川の櫨

巨木DB幹周17.09mは主幹(左・枯死)と並立する側幹3本の合計周と思われる。



◀写真 K-028  
あんようじ  
安養寺のつきの木

山門横の農地に立つ。主幹は5mで切断されているが、太い幹が5本斜上し、樹勢は旺盛である。しかし、主幹は空洞化し、満身創痍である。

▲写真 K-030  
てんし  
天子のケヤキ

現在ほとんど幹は崩れて、往時を偲ぶのみであるが、旺盛な頃の巨大感は凄いものがあつたと想像させる。



▲写真 K-031  
ながた  
永田のツキノキ

根元近くで6分岐する。集落の交差点に立ち、旅人の道標でもあった。(写真・石田徹)



◀▲写真 K-032  
なかやしきくまのじんじや  
中屋敷熊野神社のケヤキ

巨木DBの幹周15.3mは、離れて立つ3本の内の2本の合計周。太い方はM9.87mで細い方はM5.6mである。一本は枯死し、残骸が残る。太いケヤキも2mで多数に分岐する。

▼写真 K-033  
くにつ  
国津神社のケヤキ

2本の株立ちで、巨木DB幹周10.5mは合計周か？(写真・谷田元彦)



写真 K-034▶  
ねごやしんじや たぎ  
根小屋神社の田木

巨大感溢れる畑木(K-007)と共に国指定を受けたが、残念ながら主幹上部は切断され、面影はほとんど無くなっている。根元左にある巨岩と一体になって、まるで岩と化した主幹が印象的である。



▼写真 K-035  
はたあげ  
旗竿八幡宮のケヤキ

2002年に一本の枝を残して上部の幹が切断された。枯死した右幹の後継木が左幹。寄植えらしい。





▲写真 K-036

幸殿の大ケヤキ

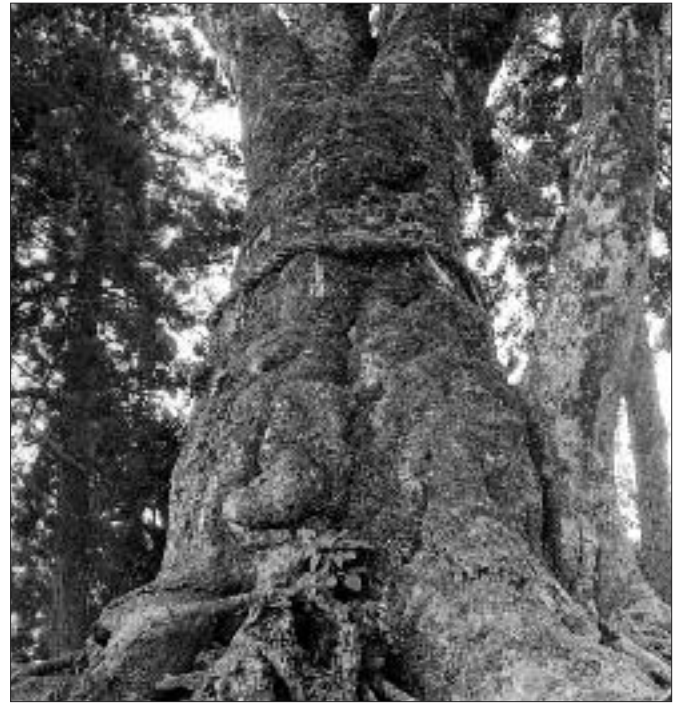
集落の小さな広場に立ち、主幹は落雷のため破損。トタンで保護されている。

倒木

写真 K-037▶

松之山の大ケヤキ

1985年頃に倒木した巨大なケヤキの巨木。根元から細い側幹が立上がって、少し幹周値が大きくなっていた。撮影時すでに根元右下に大きな亀裂が入っていて、倒木寸前であった。(1983年撮影)



■幹周 9~10m で B 評価の ケヤキの巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
B	地藏ケヤキ 写真 K-038	M9.75m(1.3m 2015)	18m	茨城県取手市下高井 高蔵寺	県指定
B	原町の大ケヤキ 写真 K-039	M9.85m(1.3m 2015)	15m	群馬県吾妻郡東吾妻町原町	国指定
B	八代の大榎 写真 K-040	M9.5m(1.3m 2015)	23m	兵庫県朝来市八代字宮山	国指定
B	本堂城址のケヤキ 写真 K-041	M9.8m(1.3m 2014)	32m	秋田県仙北郡美郷町本堂城回字館間	町指定
B	大仏のケヤキ 写真 K-042	M9.7m(1.3m 2012)	25m	福島県郡山市湖南町中野堰内	県指定
B	親都神社の大ケヤキ 写真 K-043	M9.95m(1.3m 2015)	15m	群馬県吾妻郡中之条町五反田親都	県指定
B	一里塚のケヤキ(天間館のケヤキ) 写真 K-044	9.6m	25m	青森県上北郡七戸町森ノ上	町指定
B	栖吉の大榎 写真 K-045	M9.5m(1.3m 2008)	19m	新潟県長岡市栖吉町	市指定
B	棚倉城址の大ケヤキ 写真 K-046	9.5m	32m	福島県東白川郡棚倉町棚倉字城跡	県指定
B	川田神社の大ケヤキ 写真 K-047	M9.25m(1.3m 2015)	18m	群馬県沼田市下川田町内宿	県指定
B	弥彦の蛸榎 写真 K-048	M9.5m(1.3m 2008)	35m	新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦	県指定
B	文下のケヤキ 写真 K-049	M9.47m(1.3m 2007)	28m	山形県鶴岡市文下字村の内	国指定
B	駒つなぎのケヤキ 写真 K-050	9.3m	17m	埼玉県秩父市中町	県指定
B	砥鹿神社のケヤキ 写真 K-051	9.3m	30m	愛知県豊川市一宮町西垣内	県指定
B	新田本陣の大ケヤキ 写真 K-052	M9.21m(1.3m 2015)	26m	群馬県吾妻郡高山村中山字新田	村指定

B	王城のケヤキ 写真 K-053	M9.15m(1.3m 2008)	26m	長野県佐久市岩村田古城 大井城址	県指定
B	大久保の大ケヤキ 写真 K-054	9.7m	25m	埼玉県さいたま市桜区大久保領家	県指定
B	猿喰のケヤキ 写真 K-055	株 M11.06m(1.3 2015)	20m	茨城県常陸太田市徳田町	県指定
B	小蓋宮の大ケヤキ 写真 K-056	9.0m	35m	茨城県古河市東3丁目	市指定
B	吉江家のケヤキ 写真 K-057	M9.1m(1.3m 2015)	25m	長野県塩尻市長畝	なし
B	水神様の大櫨 写真 K-058	9.1m	30m	秋田県山本郡藤里町	県指定
B	堀の内の大ケヤキ 写真 K-059	M9.85m(1.3m 2008)	35m	山梨県大月市富浜町鳥沢	市指定
B	古正寺の大ケヤキ 写真 K-060	M9.57m(1.3m 2008)	20m	新潟県長岡市古正寺町	市指定
B	天神宮のケヤキ 写真 K-061	M9.2m(1.3m 2015)	13m	長野県上田市岩下	市指定

### ■幹周 9~10m で C 級・倒木 ケヤキの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物 指定
C	山寺のケヤキ 写真 K-062	9.8m	22m	長野県伊那市山寺区上村町	市指定
C	押井のケヤキ 写真 K-063	9.8m	25m	愛知県豊田市押井町	なし
C	女飯盛木 写真 K-064	株周 M9.75m(1.3m 2008)	15m	滋賀県犬上郡多賀町多賀	町指定
C	安居寺の大ケヤキ 写真 K-065	9.5m	30m	富山県南砺市安居	町指定
C	月夜見のサクラ 写真 K-066	株周 9.3m	25m	福島県白河市表郷三森字月桜	市指定
C	下の行者の大ケヤキ 写真 K-067	株周 9.2m	34m	新潟県十日町市程島	市指定
C	願気神社のケヤキ 写真 K-068	M9.3m(1.3m 2015)	20m	長野県長野市松代町西寺尾字柳島	なし
C	相倉の夫婦けやき 写真 K-069	9.0m	15m	富山県南砺市相倉	村指定
C	出早雄神社のケヤキ 写真 K-070	M9.52m(1.3m 2015)	15m	長野県上田市真田町本原下原	町指定
倒木	一の矢の大ケヤキ 写真 K-071	9.5m	7m	茨城県つくば市玉取乙一の矢 八坂神社	なし
倒木	鳥出神社のケヤキ 写真 K-072	9.2m	32m	長野県飯山市下木島	県指定
枯死	六道原の一本櫨 写真 K-073	M7.73m(1.3m 2015)	13m	長野県小諸市小原	なし
倒木	霊泉寺大櫨	9.4m	35m	長野県上田市平井唐沢口	町指定